

2023 年度入社式 社長挨拶

本日執り行われた当社 2023 年度入社式における社長挨拶文を以下に掲載いたします。

新入社員の皆さん、入社おめでとうございます。皆さんを心から歓迎いたします。

コロナとの闘いが、ようやく収束に向かいつつあるのではないかと、そうした久しぶりに明るい雰囲気の中、春風とともに当社に入ってくられた皆さんに、お祝いと歓迎の言葉を申し上げることができ、私としても大変嬉しく思っています。

皆さんの学年は、貴重な学生生活の最後、ほぼ丸々 3 年間、思い描いていたキャンパスライフを送れなかったということで、大変悔しく、悲しい思いを抱かれている方も多いのだと思います。ウェブ上やマスク越しでしか触れ合いの記憶がない友人や恩師、あるいは憧れていた部活や旅行、学園祭や留学…。何で私たちの代は、と思われても無理はないと思います。

最後の数か月は、少しリベンジできたのかもしれませんが、やはり人間は、直接触れ合い、語り合い、ともに笑い、時には喧嘩もする。そうすることでしか元気が出ない生き物だと、私はつくづく思います。ウェブでのミーティング、これには優れた利便性、効用があることは認めないわけにはいきません。これからも場面によっては活用されていくでしょう。が、しかし、それもベースとなる人間関係があつての話だと思います。やはり直接、膝を突き合わせて、お互いの顔を見ながら、でないと本当の議論、本当の信頼関係、あるいは友情、といったものは生まれてこないのではないかと思います。私も一度やってみましたがオンライン飲み会など論外であります。あるいは私が古いのかもしれませんが、何が楽しいのか今でも分かりません。

コロナの 5 月の第 5 類移行までは、まだ慎重な行動が求められますし、それ以降もかつての日常への完全な回帰も多少時間がかかるかもしれません。会社としても、その都度判断はしていきますが、どうか学生時代出来なかった分も合わせて、人と人との本来の交流、集まり、時には衝突、といった経験を会社という舞台の上で全身で楽しんでいただければと心から思います。先輩たちもそういう触れ合いにいい加減飢えていますので、喜んで皆さんの相手になってくれると思います。

さて皆さんは、当社の来歴については、すでにある程度ご存知かとは思いますが。当社は、大正 14 年、1925 年に創業しました。すなわち今年は創立 98 年目、あと 2 年で 100 年となる、大変に歴史と伝統ある会社ですが、この数年、当社は次々と大きな新しい施策に取り組んできました。

川崎製造所においては、相次いで基幹設備の更新が進行中です。すなわち昨年の 1 月に業界に先駆けて最新鋭の電気炉が稼働を開始しました。また、これも最新鋭の冷延ミルが来年の 11 月の完成を目指して工事中です。また大江山製造所においても、カーボンレスニッケル製錬への挑戦を掲げて、様々なトライを開始しています。

そうした流れを受けて、今年度から創業 100 年の節目へ向けて新しい中期 3 か年計画がスタートします。まだ正式な決定や対外公表前ですが、ロシアのウクライナ侵攻を契機とする、足元の世界の政治、経済、といった大きな枠組みの変化、それらがもたらしている資源、エネルギー、金融等の変動を踏まえつつ、更に近未来の 2030 年へ向けた当社のミッションを皆で議論し、向こう 3 年間の経営計画としてまとめました。キャッチフレーズの案は「未来につなぐ、100 年目のメッセージ」とする予定です。

皆さんは、言わばこの中計の 1 期生であります。それぞれが配属された職場で、たとえ最初は未熟で

も、与えられたミッションを遂行しつつ、感じたこと、疑問に思ったことは率直に言葉で発信していただきます。新人のうちの最大のメリットは大概のことは質問しても許されることです。大いにこの権限を使ううちに使い倒していただきたいと思います。

先日、ある本を読んでいますと、面白い言葉を見つけました。浄土真宗の、とある高僧の言葉だそうですが、「これからが、これまでを決める」というものです。普通は「これまでが、これからを決める」と思うわけですが、この坊さんは逆のことを言っています。「これからが、これまでを決める」—何か心に響くものを感じないでしょうか。冒頭、皆さんの学生時代のことに触れました。過去の日々はもう戻ってはきません。しかし、今日これからスタートする社会人生活を、皆さんなりに日々前向きに過ごしていく中で、かつてのコロナに大きな制約を受けた学生時代が、また別の意味や意義を持って振り返れる日が来るかもしれません。私たち日本冶金工業でのこれからの日々が、皆さんのこれまでの人生に、また違う意味や意義を与える、そうした社会人生活になれるよう、心から願っています。

まずは、縁あって集まった、この 15 人の同期生です。お互いによく知り合い、理解しあい、配属後も絆を大切にしていきたいと思います。また生活のリズム、パターンもこれまでと変わります。健康に気を付けて、社会人 1 年生を楽しんでください。

代表取締役社長 久保田 尚志

本件に関するお問い合わせ先：IR・広報部（電話：03-3273-4632）